CT・MRI 検査における造影剤使用に関する説明書

造影剤を用いた検査を行うにあたり、稀ですが造影剤の副作用が生じることがあります。以下の項目をお読みになった後に、ご不明な点を確認の上で別紙の問診票に記入し、検査の実施に同意されましたら同意書に署名をして下さい。

１．造影剤とは？

診断にあたって情報量を増やす為に画像にコントラストを付ける検査用の薬です。

通常、静脈注射で CT 用はヨード製剤、MRI 用はガドリニウム製剤や鉄製剤を使います。

２．造影剤を使う利点

血管の状態、臓器の血流状態、病変の血流状態や特徴が分かり画像診断上重要な情報となります。一般に造影剤の使用により、病気の存在や状態がより詳しく正確に描出され、精度の高い診断に大変役立ちます。

また、造影剤を使わなければ病気を見つける事が出来ない事があります。

３．造影剤で副作用が生じる危険が高い状態

この造影剤はまれに副作用が発生することがあります。

アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約 3 倍高く、中でも気管支喘息の方は約 10 倍と言われています。また、腎臓の機能が低下している方に CT の造影剤を使うと腎機能を悪化させることがあります。さらに、ある種の糖尿病の薬の副作用が出やすくなることがあります。

次に該当する方は、造影剤検査の前に主治医とご相談下さい。

①以前に造影剤で具合が悪くなったことがある

②気管支喘息やアレルギー体質と診断されている

③腎臓の機能が低下している、あるいは腎臓病と診断されている

④糖尿病の飲み薬を服用している

⑤甲状腺機能亢進症と診断されている

⑥妊娠している可能性がある（胎児に対する影響がよくわかっていない為）

⑦心臓など循環器の機能が低下している

なお、以前に造影剤を使った際に副作用が出ていなくても、今回の造影剤検査で副作用が出ないとは限りません。

４．造影剤の副作用

副作用の頻度は、軽症なものを含めて約 3%と言われています。造影剤の副作用は、検査中や検査直後に生じるもの（即時性副作用）と検査後数時間から数日後に生じるもの（遅発性副作用）があります。

医療法人渓和会 江別病院

① 即時性副作用

ほとんどは吐き気、嘔吐、熱感、皮膚の異常（赤くなる、かゆみが出る、むくむ、蕁麻疹）くしゃみ、せき、などの軽いものです。しかしまれに（10 万人に数人程度）冷や汗、血圧低下、胸が苦しくなる、呼吸困難などの重い副作用が起こる事があります。極めてまれですが（10 万～100 万人に 1 人の割合）死に至る報告もあります。

又、注射部位がはれたり、炎症を起こす事があります。

② 遅発性副作用

稀に、検査後数時間から 10 日後位の間に、体がだるくなったり、頭痛、皮膚の異常などが出ることがあります。

残念ながら、こうした副作用はいつ発生するか事前に知る事はできません。
また、前回の検査で副作用が無くても今回発生することもあります。
造影剤の注入は、器械で勢いよく行う為、血管の外に造影剤が漏れることがあります。
少量の漏れは心配ありません。極めてまれですが、多量に漏れた場合は、医師の判断で処置が必要となります。

5．一度承諾した後、造影剤検査を受けたくなくなった場合

あなたは一度承諾した後も、検査前に造影剤の使用に関する承諾を取り消すことが出来ます。その場合、検査の診断能力は低下する可能性はありますが、造影剤を用いない検査を受けることは可能ですので、検査前に主治医にご相談下さい。また、承諾したにもかかわらず検査当日に体調の変化などで造影検査を受けたくない場合は主治医にご相談下さい。

6．緊急時の対応

万が一副作用が生じた場合には迅速に対処します。予期せぬ事態に対しては、最善の対処をいたします。

7．検査後の症状、異常の時には

検査終了後数時間から数日後に、先に述べたような症状や何か異常が現れた場合にはご連絡下さい。

＊上記内容に関して説明を受け、理解された場合は別紙造影剤検査同意書に本人、又は代諾者の署名記入をお願いします。
＊上記内容に関する説明が理解できない場合には、主治医にその旨を申し出てさらに説明を受けるなどして、十分に理解されたうえで署名を行ってください。
＊また、検査を承諾した後であっても検査前であれば、承諾を撤回し、その他の方法を選択することが可能です。
＊不明な点や心配な事がありましたらいつでも主治医にご相談下さい。

医療法人渓和会 江別病院